

事業計画草案

技術人材を採用するために

事業名称： 持続可能な日本建設業界の人材獲得
(バングラデিশ・トレーニングセンター構想)

骨 子： 少子高齢化が加速する日本において、人口の減少を止める画期的な手立てもなく、人口減少は出生率を見れば火を見るよりも明らかです。国内の全てにおいて人材不足が深刻化している中、人材の獲得は容易ではありません。それは日本の農業産業・建設業界で際立っています。そこで、アジア最後の発展途上国であるバングラデিশにトレーニングセンターを開設し「技能実習生」と一線を画した、日本の高度な建設技術の習得を主眼においた「高度人材」を育成し、日本国内に就職することを提案します。

- ① 回復しない、出生率→もはや人口純増加は見込めない
- ② 日本の高齢化による労働力不足
- ③ 人口ボーナス期に突入したバングラデিশの外貨獲得国家戦略（外国へ人材の放出）

《現状の建設業界》

大手・準大手の建設会社においても、求人が定員割れしている。また、地方の建設会社はさらに深刻で、人材の確保に年間 150 万円/人も投入している。しかし期待する人材の確保ができていない状況。確保しても早期退職が頻繁に起きている。

技能実習の業種を増やし、一時的に急場を凌いでいるのが実際ではないか？

《問題の視点》

- ① 全ての業種で人材不足

単純労働の部分ではもはや日本人は就業していないのではないか？と思われるほど、都会のコンビニを訪れるたびに感じる。

- ② 特に、キケン・キタナイ・キツイの建設業界

労働力も、管理者も人材不足が顕著である。この円安雇用が安定しない中でも建設業と飲食業の求人率が高いことで理解できる。